

刈谷田川利活用検討委員会通信 vol.4

～市民、新潟県、長岡市、見附市が協働して、刈谷田川ショートカット部の利用構想を検討しています～

編集・発行／新潟県長岡地域振興局(地域整備部計画調整課) 発行日／平成21年10月2日

現地視察・第4回刈谷田川利活用検討委員会の概要

“現場でスケール感を実感して、ゾーニング計画を再チェックしよう”

平成21年8月27日(水) 16:00～現地視察／17:30～利活用検討委員会(長岡市中之島公民館)

今まで計3回の検討委員会(ワークショップ)を重ねて、大まかなゾーニング計画をつくりました。この段階では、委員の皆さん全員が賛同できる計画にまとまらず、いくつかの課題が残っていました。

そこで今回、新河川の通水を間近にひかえた刈谷田川ショートカット部の現場を視察したうえで、検討委員会では、あらためてゾーニング計画のチェックを行いました。やはり、現場を実際に歩いて視察してみると様々な発見や気づきがあるものです。今まで出てこなかった視点について次々と発言がありました。

第4回の検討委員会では、グループ分けをせず、全員参加で各ゾーンを一つずつ丁寧にチェックしながら、ゾーニング計画を決定するところまでを目標にワークショップを進めました。



■プログラムと参加者

- ◆現地視察会(上新田展望台～旧堤防沿い～中之島大橋)
- ◆第4回利活用検討委員会
 - ①開会のあいさつ／②現地視察の感想・質問など／③前回までのおさらい(暫定版ゾーニング計画の確認)
 - ④ゾーニング計画・将来的全体構想の検討(全員参加のワークショップ)／⑤検討結果のまとめ、ゾーニング計画の決定

- ◆参加者
市民委員 11名(長岡市4名・見附市7名)／新潟県長岡地域振興局 5名、長岡市 2名、見附市 3名
NPO 法人地域交流センター(事務局) 3名／新潟日報(取材) 2名／長岡新聞(取材) 1名

現地視察会の結果レポート

新河川の通水(8月31日)を数日後にひかえた刈谷田川ショートカット部の工事現場では、旧河川部の埋め戻しも始まっており、今町側から中之島大橋につながる新しい道路の形も見えてきたところです。当日、長岡市中之島公民館に集まった委員の皆さんと行政関係者一同は、マイクロバスで上新田の展望台公園に移動し、そこから歩いて現地視察を行いました。

今まで図面上で検討をしてきましたが、委員の皆さんからは、「3ha といっても意外と狭いと思ったが、やっぱり広い!」という声が上がりました。左の写真は、刈谷田川ショートカット部の一番南側から北側を見た様子ですが、今町大橋までの距離(約350m)が非常に長いことが分かります。



視察ポイントごとに新潟県の職員が説明を行いました。委員の皆さんはその都度、積極的に質問をされていました。地域に住んでいても、今までじっくりと現場を見る機会がなかった方も多かったようです。

【現地視察会のコース】旧右岸側堤防を移動

- ◆上新田展望台公園⇒◆南側敷地(三角部)⇒◆主要地方道横断部⇒◆夙会館(仮称)・駐車場予定地周辺⇒◆今町大橋⇒◆中之島大橋⇒◆長岡市中之島公民館

上新田の展望台

【写真①】この展望台に登ったことはありますか？今回、はじめて登る委員さんも多く、工事現場の様子はもとより、遠くの山まで見渡せるスポットです。まず、ここから検討対象エリアの全体像を見てもらいました。検討委員会では、この場所を一体的に整備するべきという意見も出ています。



旧河川の埋め戻し

【写真②】埋め戻しの工事は着々と進んでおり、長年親しまれたこの川の姿も間もなく見れなくなります。展望台から今町大橋までのちょうど中間地点から上流を見た写真ですが、展望台が随分遠くに見えます。



旧堤防下の道路

【写真③】旧堤防の下を通る道路の様子です。ゾーニング計画の暫定案では、この辺りがメイン駐車場になり、敷地からこの道路に下りるアクセス道をつくるという案が盛り込まれています。奥に続く道路は非常に狭く、アクセス道とのつなぎ方が難しいのでは？という声も聞こえてきました。



川沿いの敷地

【写真④】新しい川沿いの細長い敷地も実際に見るとかなり広く、ほぼフラットな土地なので利活用の幅も広がりそうです。「ちょっとした公園より広い」と言っていた委員さんもいました。

検討委員会の結果レポート

前回のまとめと確認 (ゾーニング計画の暫定案)

前回は3グループに分かれて、図面の縮尺と同じ大きさの様々な形をしたパーツ(磁石)を使ってゾーニングの検討を行いました。その結果、刈谷田川ショートカット部の大きな柱となる「多目的広場」は、3グループとも中央に出来るだけ広い面積を確保するようなゾーニングになりました。また、敷地外周には緑豊かな散策道、桜並木があり、凧合戦やイベントのときには駐車場が足りないとのことから、概ね100台前後の駐車場が必要という点が共通の方向性になりました。一方、凧会館(仮称)や駐車場などの配置については、メインの敷地の北側と南側とで意見が分かれました。



【ゾーニング計画の暫定案】

主な意見や提案



1 凧会館の位置について

⇒:意見交換がづく

北側設置について

凧揚げの風向きを考えると北側の方がいい／主要地方道(見附中之島線)沿いに視界をさえぎるものがない方が景観的に良い／主要地方道沿いにある方が目立つが実際には北側でもよく見える／敷地への進入路から考えると北側が自然かもしれない／駐車場の騒音問題に配慮してもらいたい／建物と住宅地が近いので日照権の問題がないだろうか／雪が住宅地側に落ちないように配慮する必要がある

南側設置について

直売所をつくる場合は主要地方道(見附中之島線)沿いが良い⇒道路と敷地は段差があるので進入路がつかれないのでは／3班(前回まで)はランドマークになるという意図で提案した⇒周辺地域に緑が少ないので敷地の樹林が看板代わりになる／建物の裏側が主要地方道に向くので良くない

2 メイン駐車場への進入路について

住民から見れば頭の上を車が通るのである程度内側につくるべき／敷地に入入りする道路をわざわざ今ある狭い道路につなげる必要がないのでは⇒立派な道路は必要ない(いざという時に車も通れる規格にしておく)／駐車場から今町を周遊できる道が欲しい⇒駐車して歩いて商店街に行くように誘導してはどうか／保育園があるので車の通りは少ないほうがいい／堤防の高さまで高低差があるので緩い斜面にすると道路も長くなる

3 三角地帯(南側の飛び地)

臨時駐車場 現在、展望台公園に駐車場がないので不便／三角地帯にも駐車場が欲しい⇒これまでの検討経過の中で臨時駐車場の案が出ている／現在、駐車場・多目的広場・グランドゴルフ・水防訓練場などの方向性が出ている⇒新潟県：今回は平常時の利用の仕方を検討してほしい(次回、緊急時と平常時にわけて整理したい)

トイレの設置 トイレを設置したい⇒そんなに必要があるか疑問⇒グランドゴルフは高齢者が多いのでトイレまで近いほうが良いのでは／上下水道・電気が必要になる⇒新潟県：風会館がある以上、必要になるので引き込み・配管はこちらで検討したい

敷地の高さを揃える 展望台公園との高さを揃えたらどうか(下げる)⇒防災上、敷地を下げることは難しい⇒展望台公園の高さを上げる方法もあるのでは⇒新潟県：埋め戻しと敷地の高低の問題を検討したい

防災倉庫・その他 ヘリポートや防災倉庫を置く可能性も検討してはどうか⇒新潟県：防災倉庫は風会館と別に必要で両市と相談したい(土嚢袋などをストックするプレハブ小屋程度のもの)／子供の遊び場としても良いのでは



4 散策・森ゾーン

散策路から住宅が丸見え?! 散策路と住宅が近いのが気になる⇒暫定の計画図では旧堤防の境界から20～30m内側に散策路がある⇒住宅が丸見えになるという心配はないのではないか

旧堤防の扱い方 殺風景な旧堤防の外側法面(斜面)を残すかどうか⇒遊歩道になるのであれば残すべき⇒遊歩道は内側につくるので不要なのでは／旧堤防を取ると緩やかな傾斜ができる⇒傾斜の面積が広がると雨水が多く流れ出る⇒通常は法尻(堤防と住宅地の境)に石積みやU字溝がある⇒新潟県：地元からは雨水対策をしっかりしてくれという要望がある⇒U字溝ができれば川に流せるが洪水で逆流する心配もある／緩やかな法面にすれば住宅地側からの景色が良くなる

5 プレイゾーン(バーベキュー広場・子どもの遊び場)

第2駐車場 第2駐車場は必要だろうか⇒川沿いの敷地を臨時駐車場にしようか(草が生えるブロックなどで整備)⇒道路を挟むと事故が心配

ヘリポートとの兼用 ヘリポートは最大で25m四方(車40台分)必要⇒新潟県：ヘリポートと駐車場の兼用が可能かどうかを確認中⇒平常時は駐車場として暫定計画の位置で良いのではないかと／ヘリコプターの進入路になるラインは高い木を植えることが出来ない

バーベキュー広場 利便性を考えると建物(風会館)に近い方が良い⇒当初はバーベキュー広場の近くに子どもの遊び場をつくるというコンセプトだった／必要性を再整理する必要がある⇒もともと他所から人を呼び込みたいのが商店街の意向だった／広場の規模は課題として位置は概ね良いのではないかと／あれこれ必要となると多目的広場が狭くなる⇒当初のコンセプトは「何も無い広い広場」だったはず⇒三角地帯を上手に利用してメインの広場を広く取りたい⇒狭いといっても学校の校庭くらいはある／水道があるのならトイレもつくりたい



6 散策・並木ゾーン(川沿いの飛び地)

並木は必要かどうか 風合戦の邪魔になるので高い木は不要かもしれない⇒木を植えなければ道路も利用してメインの敷地と一体となったイベント会場として使える(道路の一時通行止め)⇒通行止めにするとう駐車場が利用できなくなるのでは／木はいつでも植えられるので芝生にしておけばいい(いざという時に駐車場にも)／何もなくても夕日がすごくきれいなスポット

モニュメント公園 この一帯をモニュメント公園にしてはどうか⇒犠牲者がいるのでモニュメントは必ず必要⇒中之島の若い人たちからモニュメントの話はあまり出ない⇒中之島側に慰霊碑をつくる話があるようだ(未確認)／水害のことを伝える何かを立てる

7 三角地との行き来のためのトンネル・周遊散策路

全体を一周すると約1kmの周遊コースができる／主要地方道(見附中之島線)をくぐる通路は急な坂になるかもしれない⇒新潟県：車イスにも配慮して6%程度の傾斜で遠回りのスロープにしてはどうか(歩ける人は階段を利用)



【補足】防災上の視点では(新潟県より)

防災上の視点では、築山は土嚢に、木は切って応急資材に、という名目になります。調査した結果、防災ステーションにヘリポートは必須とのことでした。ヘリポートは面積や位置など制約が多いですが、第2駐車場付近がヘリポートの適地の1つだと思います。委員の皆さんには平時の利用を検討していただき、行政サイドで防災の視点を整理していきたいと思います。(委員会での補足より)



総括と今後の予定

今回の検討ではゾーンごとに丁寧に確認を行いながら、概ねの利活用方針とゾーニングを決定しました。現場視察を行ったことで、今まで気づかなかった視点も盛り込まれ、新しい課題も発見することができました。懸案だった凧会館(仮称)の位置も確定し、次回からは、より具体的な検討を進める段階に入ります。以下のゾーニング計画図は、今回の検討委員会の結果をまとめたものですが、ほぼ前回の暫定案通りになっています。



各スポットの課題や検討事項など

A: 駐車場から今町へのアクセス道路の必要性を検討する／B: 旧堤防斜面からのアクセス(徒歩)および旧堤防上の既存の歩道の処理方法を検討する／C: 敷地南北の連絡通路は敷地の高さよりも低いため高低差を処理する必要がある⇒点線のルートでスロープを整備する／D: 上新田展望台公園との一体利用の具体策を検討する／E: 三角地を有効に活用することで、メインの敷地に広い広場を確保する／F: 技術的な制約によりヘリポートの設置場所はこの2ヶ所が適地／G: 当面は植樹をせず多目的な利用を検討する／H: 車の騒音など住宅への影響を十分に配慮する

次回からは維持管理を本格的に検討したいと思います。例えば、凧会館にどんな機能を持たせるか?を運営面からの視点も盛り込み、それが可能かどうかを考えたいと思います。予定では刈谷田川利活用検討委員会も残すところ後2回の開催となりました。限られた時間を有効に使ってより良い計画づくりを行いたいと思いますので、引き続きのご理解とご協力を宜しくお願いします。◆第5回検討委員会は、10月28日(水)19~21時に開催します。(最終回の第6回は12月に開催予定)

本件についてのお問合せ先



新潟県長岡地域振興局(地域整備部計画調整課)

〒940-8567 新潟県長岡市四郎丸町 173 番地 2 TEL:0258-38-2614 FAX:0258-38-2627